



島ぜんぶでうむさんラブ

Uchina Social Action Powered by Yunus Social Business



沖縄から
社会にイイこと
はじめよう。

 株式会社よしもとラブ&ピース



社会課題解決を仲間と共に。
地域と共に。



島ぜんぶでうむさんラブ(愛称:島ラブ)

『島ぜんぶでうむさんラブ(島ラブ)』では、県内、国内外問わずたくさんの人々と大きな愛でつながり、社会課題に向き合いながら、解決を目指す環境を創っていきます。

地域や社会の課題に挑戦する人をサポートし、沖縄でワクワクするプロジェクトがどんどん産み出されていく。
ソーシャルビジネスアイランド沖縄を目指して活動しています。

実施事業概要

事業名	島ぜんぶでうむさんラブ Uchina Social Action powered by YunusSocial Business
実施内容	沖縄県におけるソーシャルビジネスインキュベーション推進事業 ・沖縄県41市町村におけるソーシャルビジネスの普及啓発を目的とした インキュベーション事業を展開 ・社会課題をビジネスで解決する方法について教育機会・起業機会を創出 ・沖縄県に存在する社会課題とその解決手法を広く全国へ発信
実施コンテンツ	41市町村へ向けたワークショップ／ビジネスコンテスト／BS番組の制作／評価 等
提携	株式会社うむさんラボ 他
期間	2021年～2024年3月
スローガン	<u>沖縄がソーシャルビジネスアイランドになる</u>

ロードマップ

種まき・発見期 (1年目)

テーマ：
ソーシャルビジネスを知って
もらう

- ・社会課題に取り組んでいる人をサポート
- ・人々の興味、関心を高める

芽生え・挑戦期 (2年目)

テーマ：
チャレンジャーと
応援者の輪を広げる

- ・チャレンジする人、応援する人の母数を増やしていく
- ・繋がりが輪が大きくなることで、解決できる社会課題も増える

成長・拡大期 (3年目)

テーマ：
沖縄の社会課題解決への
取り組みを、より多くの人へ
届ける

- ・取り組んできた社会課題の解決のノウハウも蓄積され、成果も見えてくる
- ・地域内に留めず、県内外、海外でもナレッジシェアを広げていく

収穫・定着期 (4年目以降)

テーマ：
自然と社会課題に取り組む循環
が生まれる沖縄

- ・社会課題と向き合うことが、当たり前（生き甲斐）となる沖縄県に
- ・個々がGive & Giveのマインドを持ちながら、真の意味でのイチャリバチョーデー（誰一人取り残さない）の社会を築く



ソーシャルビジネスアイランドへ

実施プログラム「島ぜんぶでうむさんラブキャラバン」

島ラブキャラバンでは沖縄県41市町村を対象とし、ソーシャルビジネスを周知しワークショップなどを行いました

2022年実施報告



8月21日(日) @沖縄ラブ&ピース専門学校 (那覇)

参加人数：17名

講師：うむさんラボ 代表 比屋根 隆さん



9月17日(土) @チャレンジ (石垣)

参加人数：22名

講師：うむさんラボ 代表 比屋根 隆さん

FOURDIGIT代表取締役 田口亮さん

カヤックゼロ 代表 住吉優さん

合同会社縄文企画 代表 田中秀典さん

nuchiuyi 代表 綿貫円さん



10月22日(土) @coconova (名護)

参加人数：18名

講師：マナティ ディレクター 二宮あみさん

Endemic Garden H 代表 仲本 いつ美さん

Social Design 代表 北野勇樹さん



11月5日(土) @場所：hamachū (うるま市)

参加人数：34名

講師：OKARAOKARA 崎濱かりんさん



実施プログラム「島ぜんぶでうむさんラブキャラバン」

島ラブキャラバンでは沖縄県41市町村を対象とし、ソーシャルビジネスを周知しワークショップなどを行いました

2023年実施報告



9月16日(土) @ 個別進学塾ルート(宮古島市)

参加人数: 21名

講師: 株式会社Root 代表 根間 玄隆さん

一般社団法人NEREIS 代表 井上 美香さん

株式会社シグマ 代表 佐和田 はるかさん



10月19日(土) @ Lagoon Koza (沖縄市)

参加人数: 16名

講師: 株式会社Algalex 高田 大地

HelloWorld株式会社 花城 里奈

株式会社AWA Biz 小川 きぬさん

(島ラブアカデミー2期卒業生)



11月11日(土) @ SAKURA innobase Okinawa (那覇市)

参加人数: 6名

講師: OrgaNect合同会社 福原海里さん

株式会社フルステム 千葉 俊明さん



11月18日(土) @ coconova (名護市)

参加人数: 3名

講師: coconova館長 具志堅秀明さん

株式会社AWA Biz 小川 きぬ

(島ラブアカデミー2期卒業生)



11月25日(土) @ チャレンジ石垣島(石垣市)

参加人数: 12名

講師: 株式会社池原酒造 池原優さん

合同会社縄文企画 田中秀典さん

合同会社empty 岩倉千花さん



実施プログラム「島ラブアカデミー」

島ラブアカデミーは、3ヶ月間のプログラムを通してソーシャルビジネスのアイデアを形にし、事業プランの発表、または起業までをチャレンジ目標とします。まずは、メンターと共に社会問題を解決するビジネスモデルやマインドセット、そして最も大切な“ソーシャルコンセプト”作りについて学び、その後必要に応じてビジネスプランの落とし込みに入ります。講義と共に、メンターが伴走支援をし、ディスカッションを通じて事業モデルを明確なものにしていきます。中間発表や他チームとの共有を定期的に行うことで、短期間で実践的な起業プランの完成を目指します。

2022年の実施報告

日程：2022年1月～4月（計13回実施）

場所：Lagoon（沖縄市）、HAMACHU（うるま市）他

参加人数：14組

講師：株式会社ボードレス・ジャパン 代表取締役副社長 鈴木雅剛様 他



2023年の実施報告

日程：2023年1月～4月（計12回実施）

場所：みらいおきなわ（那覇市）、沖縄ラフ&ピース専門学校（那覇市）

参加人数：15組

講師：株式会社ボードレス・ジャパン 代表取締役副社長 鈴木雅剛様 他



実施プログラム「島ラブアカデミー」

2024年の実施報告

日程：2024年1月～4月（計10回実施）

場所：SAKURA innobase Okinawa、沖縄ラフ&ピース専門学校

参加人数：7組（12名）

講師：株式会社ボーダレス・ジャパン 代表取締役副社長 鈴木雅剛様 他



チーム	名前	テーマ
1	崎濱 花鈴	島豆腐から出るおからの未利用資源の活用
2	横田 優	教員向けの教育、教員の居場所づくり
3	加藤 律子 小茂田 さおり 田中 啓介 古川 万理 謝花 うみ	産前・産後の相談ができる コミュニティづくり、企業向け研修
4	津波 駿佑 石塚 茉尋	沖縄の海洋ゴミの情報プラットフォームの 制作、企業向け環境研修
5	那須 理恵子	介護美容を通じた自律支援
6	田盛 英保	SDGsに取り組む企業の事業支援を行う SDGsシェアードサービス
7	長谷場 咲可	アートとテクノロジーを使った廃棄資源の活用

実施プログラム 番組制作

番組名：BSよしもと番組「Cheeky's a GoGo!」
放送日時：第2・第4水曜日 13:00～17:00
放送期間：2022年～2023年

番組名：BSよしもと番組「キクテレミルラジ265」
放送日時：第2・第4火曜日 14:00～17:00
放送期間：2023年～2024年
※放送後にはYouTubeで動画配信も行っております。

3年間の実施報告

■放送内容

- シーズン1 『沖縄をソーシャルビジネスアイランドに』をコンセプトに、沖縄での取り組みを
沖縄県住みます芸人のハイビスカスパーティーちあきがレポートしております。
シーズン2 ソーシャルビジネスに取り組む、島ラブアカデミー2期生のみなさんの活動や想いをご紹介しております。



Youtube
島ぜんぶでうむさんラブチャンネル



実施プログラム「島ラブ祭」(2022年)

「島ラブアカデミー」で磨き上げたビジネスプランを発表する場が「島ラブ祭」です

〈2022年度実施報告〉

▼日時：2022年4月16日（土）開演 15:00 / 終演 18:10

▼場所：琉球新報ホール（那覇市泉崎1-10-3）

▼発表者：14組

▼受賞者：「島ぜんぶでうむさんラブ賞」を「アシタネプロジェクト」様に贈呈

▼来場者数：250名

▼コメンテーター：

竹中 ナミ（たけなか なみ）
西原 文乃（にしはら あやの）
平良 斗星（たいら とうせい）
兼村 光（かねむら ひかる）

社会福祉法人プロップ・ステーション 理事長
立教大学 経営学部国際経営学科 准教授
公益財団法人みらいファンド沖縄 副代表理事
一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター
アクセラレーションセッション セクションマネジャー

▼ゲスト出演者：ムハマド・ユヌス博士（VTR出演）、岡田 昌治（一般社団法人ユヌスジャパン代表理事）

▼MC：ガレッジセール、ちあき（ハイビスカスパーティー）



13 アシタネプロジェクト

『自分一人ではたどり着けない明日に挑戦する』

引きこもりや不登校、障がい等を理由に生きづらさを抱えている子ども・若者の居場所作りを行っている NPO 法人ちゅらゆいに通い、「自分一人ではたどり着けない明日に挑戦したい」と有志のメンバーが集ったアシタネプロジェクト。

メンバーの「やりたい」を仲間と一緒に実現していくこと、お互いの得意不得意を補い合い共同で何かを成し遂げること、「また明日ね」と言える関係性を大切にしているアシタネの輪を広げたい。

島ラブ祭への想い

「ありのままの自分でいいんだな」と肩の荷を下ろせたり、一歩踏み出すきっかけになったり、アシタネの仲間になってみたいと思っていただけたら嬉しいです。

どんな芽が出るかわからないドキドキと、個性溢れるいろんな種たちが芽生える時を一緒に過ごしてみませんか？



島根 しおり



國吉 英樹



伊波 雅裕



山城 結花



<https://www.facebook.com/npo.churayui/>

実施プログラム「島ラブ祭」(2023年)

〈2023年実施報告〉

▼日時：2023年4月15日（土）開演 15:00 / 終演 18:10

▼場所：琉球新報ホール（那覇市泉崎1-10-3）

▼発表者：15組

▼受賞者：「島ぜんぶでうむさんラブ賞」を「看取り沖縄」様に贈呈

▼来場者数：301名

▼コメンテーター：

平良 いずみ（沖縄テレビ放送 報道部 キャスター）

平良 斗星（公益財団法人みらいファンド沖縄 副代表理事）

西原(廣瀬) 文乃（立教大学 経営学部国際経営学科 准教授）

宮城 治男（NPO法人ETIC.創業者）

▼MC：ガレッジセール、よすみ



14 看取り沖縄 mitori okinawa

安心して最期を迎えられる沖縄へ

看取りのボランティアや看取り経験者の方から聞き取りをさせて頂く中で、看取りに対してマイナスなイメージや看取り方がわからないと言った声を多く聞かせて頂きました。多死社会となり病院や施設で亡くなりたいと希望しても入れない看取り難民が出ると言われています。在宅での看取りが増える可能性があります。在宅看取りをされたご家族が仰います「家族の最期を看取することで私の中の人間的な成長に繋がった」と。「死は怖いものじゃないよ」と。旅立つ方を子供達と一緒に看取することは巡り巡ってご自身の最期へと繋がります。ご本人とご家族が安心して最期を迎えられる沖縄になりますようにと活動して参ります。

島ラブ祭への想い

「自分の死を想うことは生が輝く」私が大切にしている言葉です。
これから看取りを通し出逢う人すべてをまるごと包み愛します。
看取りの素晴らしさを寄り添いお伝えして参ります。
より良い沖縄を目指して共によりしくお願いいたします。



安里 裕子



<https://instagram.com/mitori.okinawa/>

実施プログラム「島ラブ祭」(2024年予定)

〈2024年実施概要〉

▼日時：2024年4月20日（土）

▼開場：13:30 開演：14:00 終演：17:30（予定）

▼場所：那覇文化芸術劇場なはーと（大劇場）
（〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3丁目2-6-27）

▼参加者：7組（予定）

▼コメンテーター：

兼村光（かねむら ひかる） 一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター
アクセラレーションマネージャー
落合 千華（おちあい ちか） ケイスリー株式会社 COO兼取締役
鈴木圭三（すずき けいぞう） 内閣府沖縄総合事務局
官民共創未来コンソーシアム エバンジェリスト

▼MC：ガレッジセール

〈「島ラブ祭」2024年実施参加予定者〉

教員向けの教育
教員の居場所づくり

島豆腐から出るおからの
未利用資源の活用

アートとテクノロジーを使った
廃棄資源の活用

沖縄の海洋ゴミの
情報プラットフォームの制作
企業向け環境研修

2024年参加チーム数：7チーム

産前・産後の相談ができる
コミュニティづくり
企業向け研修

介護美容を通じた
自律支援

SDGsに取り組む企業の
事業支援を行う
SDGsシェアードサービス

〈「島ラブ祭」2024年実施参加予定者〉



Camun 加藤 律子

所属/これまでの取り組み

- ・ヤソウカフIyamacha経営
- ・一般社団法人Camun設立
- ・産後ママのコミュニティづくり
- ・発酵料理ワークショップ開催

島ラブでの取り組み

- ・産前産後ママ、パパのコミュニティ
- ・企業向けの産前産後研修



しまぬわ 津波 駿佑

所属/これまでの取り組み

- ・一般社団法人しまぬわ 代表理事
- ・一般社団法人 GAT 理事
- ・海の海洋保全活動
(ビーチクリーンや講師活動など)

島ラブでの取り組み

- ・海洋ゴミの情報プラットフォーム
- ・企業向け環境研修



Walltech 長谷場 咲可

所属/これまでの取り組み

- 株式会社WALLTECH
代表取締役（製造業）
- 株式会社フードリボン
繊維事業統括マネージャー

島ラブでの取り組み

- ・アートとテクノロジーを使った
廃棄資源の活用

〈「島ラブ祭」2024年実施参加予定者〉



Okaraokara 崎濱花鈴

所属/これまでの取り組み

- ・島豆腐から出るおからの活用
- ・ワークショップ開催
- ・クラウドファンディングの運営

島ラブでの取り組み

- ・島豆腐から出る
おからの未利用資源の活用



那須 理恵子

所属/これまでの取り組み

- ・看護師、介護美容セラピスト
- ・ヨガインストラクター

島ラブでの取り組み

- ・介護美容を通した自律支援
- ・介護予防ヨガでの健康推進



田盛 英保

所属/これまでの取り組み

- ・金融
- ・中国のグローバルコミュニティ
- ・子ども職業体験（ぷちおきなわ）

島ラブでの取り組み

- ・SDGsの取り組む支援を行う
SDGsシェアードサービス



横田 優

所属/これまでの取り組み

- ・小学校教員10年
- ・バレーボール指導/連盟事務局長

島ラブでの取り組み

- ・教育の情報プラットフォーム
- ・教員向けのサードプレイス
- ・学校コンサルティング

メディア露出（抜粋）

大崎会長は、沖縄特有のエンターテインメントを生み出す芸能風土や社会的および地理的要因におけるポテンシャルに着目し、沖縄を日本全国のみならずアジアまで視野に入れたエンタメ発信拠点とすることを目標に掲げる。

さらに、「沖縄国際映画祭は100回まで続ける」と公言しているように、沖縄にずっとよりそう姿勢を示していることが地元住民や自治体関係者に評価されており、それが大きな信頼関係を生み出している。



沖縄国際映画祭開催時に開かれたソーシャルビジネスコンテスト「島ラプ祭」の様子（写真：吉本興業）

そして、沖縄発の新たな取り組みを始める。それが、地域ビジネス創出の“仕組み作り”となるプロジェクト「島ぜんぶでうむさんラプ」（島ラプ）だ。

これは、沖縄がソーシャルビジネス・アイランドになることを目標としたプロジェクトだ。地域の社会課題をビジネスにして解決するソーシャルビジネス創出を掲げるユヌス・ソーシャルビジネスの理念に基づいて進められている。

2021年に3年間の事業プランを発表、起業および事業拡大を目指す人たを募集し、今年1月より参加14チームによる事業化プログラムを開始した。資金の一部には休眠預金活用事業の助成金も活用している。

沖縄国際映画祭では、「島ラプ祭」というイベントが開催された。プロジェクト2年目に入った14チームの中間発表とそれぞれのアイデアの宣伝という位置付けで、4か月にわたり練り上げてきた事業プランを5分間でプレゼンし、観客による投票で最優秀賞「島ぜんぶでうむさんラプ賞」を決定する内容だ。

【本土復帰50年】吉本興業が沖縄でソーシャルビジネス

『財界』編集部
ビジネス

SHARE



『島ラプ祭 ソーシャルビジネスコンテスト』の参加者たち

Googleはこの広告の表示を
停止しました

5月15日、本土復帰50年を迎えた沖縄。経済の自立が求められる中、『沖縄映画祭』、エンタメ分野の人材を育成する『沖縄ラフ&ピース専門学校』の開校など、沖縄発のビジネス創出に取り組んでいる吉本興業。なぜ、吉本興業は沖縄のビジネスに注力するのか――。

14年前から沖縄で活動

「バングラデシュの貧困のように、沖縄にはソーシャルビジネスで取り組むべき多くの課題がある」――。

こう語るのは、貧困層の自立を支援するグラミン銀行を創設し、2006年ノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス氏。

今年5月、本土復帰50年を迎えた沖縄。だが、返還50年を経てもなお課題は多い。

県内総生産の4割は公共事業、県民所得は全国最下位、非正規雇用率も全国で最も高いなど、経済の自立が大きな課題となっている。

こうした中、吉本興業はユヌス氏と組んで、沖縄でソーシャルビジネスを根付かせようとしている。

東洋経済
ONLINE

5月10日（水）

記事を探す

トップ 連載・特集 会員限定 ビジネス 政治・経済 マーケット キャリア・教育

ライブ 読者募集

沖縄に「観光以外の産業も」映画祭の大きな挑戦

貧困の島と呼ばれる沖縄の社会問題を解決

荒井 保之：ライター

読者フォロー

2023/04/26 12:30

シェアする ツイートする ブックマーク メールで送る 印刷 A+ 拡大 A- 縮小



那覇の国際通りで開催された海外のレッドカーペットセレモニー。泊滞には約1万7000人の観客が集まった（写真：吉本興業提供）

沖縄の春の風物詩となる一大イベント『島ぜんぶでおーきな祭 第15回沖縄国際映画祭』が今年も那覇で4月15日、16日に開催された。

地元で根差した「沖縄の祭り」でもある同イベントでは、観光以外の産業がなかなか根付かず、貧困の島とも呼ばれる沖縄の社会問題を、ソーシャルビジネスで解決することを目指す「島ぜんぶでうむさんラプ」（島ラプ）を走らせている。プロジェクトの現状や、今後の戦略取材した。

15回目を迎えた本イベントの会場周辺には、約1万7000人の観客が集まった。地元の若い世代のほか、観光客の姿も見られ、晴天の真夏日のなか沖縄の祭りらしいにぎわいを見せた。

華やかに開幕した本イベントのメインになったのは、昨年に続いて2回目の実施となった『島ラプ祭 ソーシャルビジネスコンテスト』だ。

島ラプは、ノーベル平和賞を受賞した経済学者ムハマド・ユヌス博士が提唱するユヌス・ソーシャルビジネスの理念に基づいて、沖縄が地域の社会課題をビジネスにして解決するソーシャルビジネス・アイランドになることを目標とする。

東洋経済オンライン 2022/5/10

財界 2022/5/31

東洋経済オンライン 2023/4/26



メディア露出（抜粋）

MORE FASHION | BEAUTY | WEDDING | LIFESTYLE | ENTERTAINMENT | COLUMN | MORE JAPAN | MORE INFLUENCERS

「沖縄の社会課題の解決を目指して」 第15回沖縄国際映画祭レポ

2023.05.03

SHARE

「島ぜんぶでおーきな祭 - 第15回沖縄国際映画祭」 開催！

沖縄の社会課題の解決を目指すコンテストやクレカをレポート



2023年4月15日、16日に沖縄の那覇で開催された、総合エンタテインメントの祭典「島ぜんぶでおーきな祭 - 第15回沖縄国際映画祭」。映画上映のみならず、音楽、お笑い、アート、ソーシャルビジネスコンテスト、レッドカーペットイベントなど多彩なイベントが展開されました。

MORE 2023/5/3

BOOK RADIO MANGA GAME STAGE POLITICS LIFE OTHER BACK NUMBER

>> 5月6日♡HAPPY SKY DAY♡JO1金城碧海くん23歳

ガレッジセール「ワクワクしかないですね」 沖縄県の社会課題解決を目指す新たな取り組みに期待

2023.4.15



文・撮影＝梅山織愛

Share on   

『島ぜんぶでおーきな祭 第15回沖縄国際映画祭』が4月15日に開幕。初日は映画作品の上映、舞台挨拶だけでなく、「島ラプ祭 ソーシャルビジネスコンテスト」や「おーきな祭クレジットカード発行記者会見」などが行われた。

QJ WEB 2023/4/15

メディア露出（抜粋）

テレビ・映画・人気芸能人の最新情報

マイナビニュース

総合トップ TECH+ +Digital みんなのガジェット ワーク&ライフ 就職応援 エンタメ ホビー 特集 Sky

ガレッジセール「大崎会長、素晴らしい企画ですね!」“沖縄のビジネスプラン”プレゼンに感動

掲載日 2023/04/15 18:42

Twitter Facebook B! URLをコピー

お笑いコンビ・ガレッジセールが15日、沖縄県那覇市の琉球新報ホールで行われた「島ラブ祭 ソーシャルビジネスコンテスト Powered by Yunus Social Business」で司会を務めた。



「島ラブ祭 ソーシャルビジネスコンテスト Powered by Yunus Social Business」開催

沖縄県ではソーシャルビジネスの起業支援・普及啓発を目的としたインキュベーション推進を行う事業「島ぜんぶでうむさんラブ」を展開中。沖縄県がソーシャルビジネスアイランドとなることを目指している。

マイナビニュース 2023/4/15

CREA

TRIP GOURMET CULTURE LIFESTYLE BEAUTY & HEALTH FASHION FORTUNE BOOKS

お笑い芸人や俳優、映画監督が 沖縄をさらに賑やかにした2日間！ 第15回沖縄国際映画祭レポート

TRIP / PREFECTURES 2023.5.7

沖縄の社会課題を解決するビジネスコンテスト



全15事業が発表されました。

すべての写真を見る

そして、イベント企画では「島ラブ祭 ソーシャルビジネスコンテスト Powered by Yunus Social Business」が開催。これは貧困、教育、環境など沖縄のさまざまな社会問題を解決するためのビジネスアイデアを競うもの。

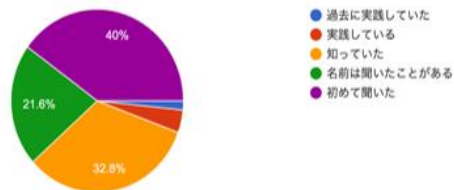
CREA 2023/5/7

アンケート（抜粋）

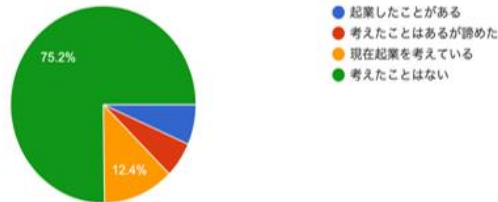
2022年4月 島ラプ祭（島ぜんぶでおーきな祭 第14回沖縄国際映画祭） アンケートより

来場者数アンケート結果

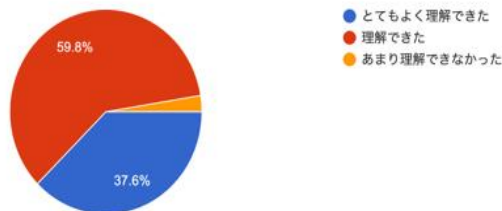
- 島ラプ祭に参加する前にソーシャルビジネスについて知っていましたか？



- 島ラプ祭に参加する前にソーシャルビジネスで起業を考えたことがありましたか？

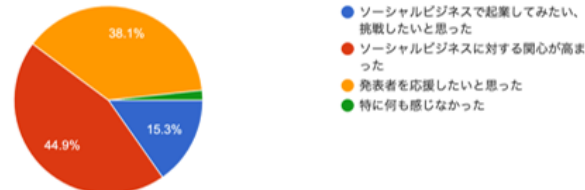


- 島ラプ祭に参加したことで、ソーシャルビジネスについての理解は深まりましたか？

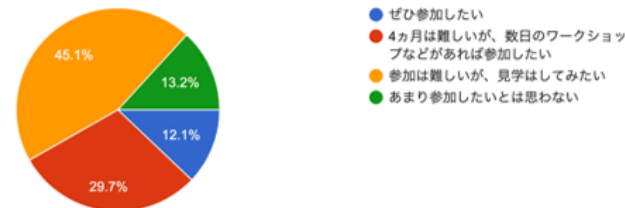


来場者数アンケート結果

- 島ラプ祭に参加したことで、ソーシャルビジネスに対してどのように感じますか？



- 島ラプ祭発表者のように4ヶ月間ソーシャルビジネスを考えるアカデミープログラムに参加したいと感じますか？



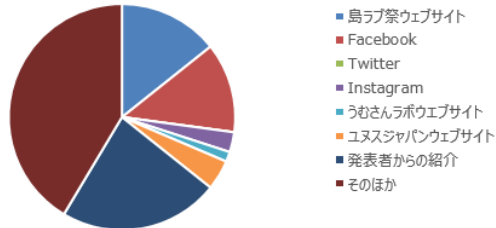
来場者数アンケート結果：感想など（一部抜粋）

- ソーシャルビジネスを考える良い機会になりました。
- みんなが心に愛を持つことができれば、何に対してもどんなことでも許すことができるし助けられると思うので、すべての社会課題がなくなると思います。
- とてもよかったです。分野は違っても一つになっている感じがしました。
- とても感動しました。現在、失業中で今後の生業について模索している自分にとって、色々と勉強になりました。
- 知ること、きっかけ、チャンスを、ソーシャルビジネスをもと地域に草の根的に広めてください。ここに来ないと知ることができませんでした。
- 色んな人の意見や考えが聞ける貴重な体験でした。これを機に、自分ができることを少しずつ始めてみたいと思いました。
- あっという間の時間で楽しく見聞きすることができました。沖縄から笑顔と平和と自分を大切にできる「人」作りができると良いなと思いました。

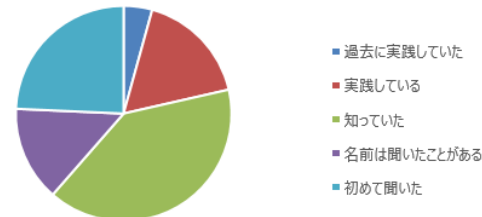
アンケート（抜粋）

2023年4月 島ラプ祭（島ぜんぶでおーきな祭 第15回沖縄国際映画祭） アンケートより

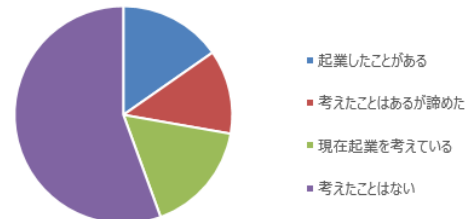
・ 島ラプ祭をどこで知りましたか？



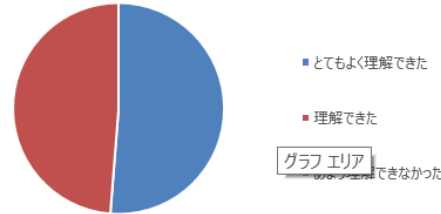
・ 島ラプ祭に参加する前にソーシャルビジネスについて知っていましたか？



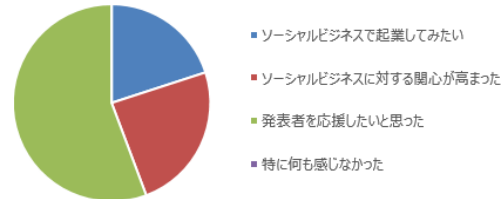
・ 島ラプ祭に参加する前にソーシャルビジネスで起業を考えたことがありましたか？



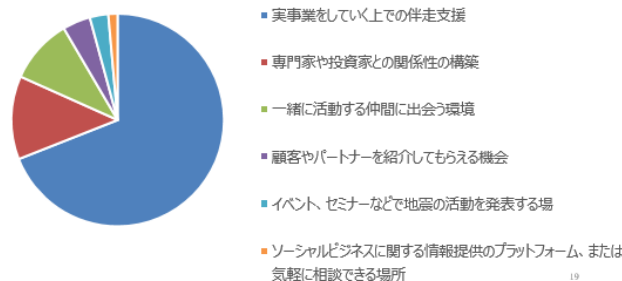
・ 島ラプ祭に参加したことで、ソーシャルビジネスについての理解は深まりましたか？



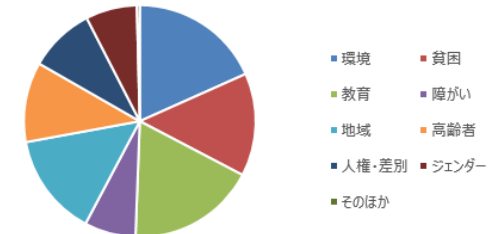
・ 島ラプ祭に参加したことで、ソーシャルビジネスに対してどのように感じますか？



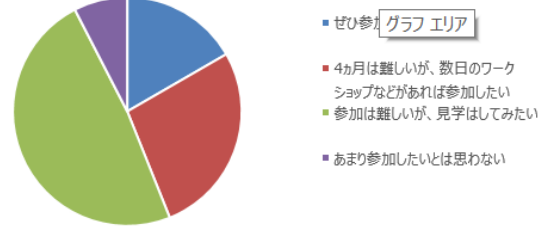
・ ソーシャルビジネスを実践する、理解を深める上で必要だと思うコンテンツがあれば教えてください。



・ いったい社会問題に興味がありますか？



・ 島ラプ祭発表者のように4ヶ月間ソーシャルビジネスを考えるアカデミープログラムに参加したいと感じますか？



来場者アンケート結果：感想など（一部抜粋）

- ・ 初めて参加しました。いろいろ興味を持ちました。まだ頭の整理ができてませんが、色々な刺激を受けました！
- ・ 本当に素晴らしいイベントだと思います。ぜひ継続的に続けて頂きたいです、微力ながら協力させて頂ければと思います。
- ・ 来年も楽しみにしています。
- ・ 歌で特に心が揺さぶられました。
- ・ 皆さんの発表から刺激をいただきアイデアもたくさん湧いてきました。来て良かったです。
- ・ 沖縄の問題について、こんな素晴らしい方々が考える場所、発表するイベントがあって、沖縄はもっともっと良くなると思います。ありがとうございます。
- ・ 様々な背景、思い、価値観を持った人達に接する機会がありがたいです。
- ・ 本件に素晴らしい会に参加させていただき有難うございました。伴奏支援、イベントの実施ともに大変お疲れ様でした。ソーシャルビジネスで社会を良くする輪が広がっていくことにワクワクしました。

総括

2021年本助成事業の実行団体に採択され、事業開始より3年目が終了いたしました。

事業1年目、2年目は取り組みの多くの側面でコロナとの相対があり、イベントを事業の軸として考えていた当社にとっては、大変厳しい環境での事業スタートとなりました。

「社会課題という難しくなりがちな話を、笑いの力で解決できないか」「沖縄をソーシャルビジネスアイランドに」という夢を掲げ、事業に取り組んだ結果、「インキュベーション推進」という点においては、アンケートの回答からも非常に効果が高かったというのが自己評価です。

沖縄県内外を問わずに散見される、この手のイベントとは180度考え方を変え、「ショーとして見ごたえものに仕立てること」「終始楽しく行うこと」この点を心がけた「島ラブ祭」は、3回目を前にして、多くの民間企業が関心を寄せております。

また、当社の芸人が、「ソーシャルビジネスってなんだろう」から、「自分たちもなにかできることはないのか」という意識が芽生えてきています。

沖縄における「笑いのリーディングカンパニー」の当社と「社会起業家育成のリーディングカンパニー」である、うむさんラボの組合せは、相乗効果を産み、新たな輪が生まれ始めています。

本事業は今月で終了いたしますが、社会起業に挑戦する人は確実に育ちつつあり、今後は事業化に向けた経営支援が必要な段階を迎えています。



島ぜんぶでうむさんラブ

Uchina Social Action Powered by Yunus Social Business



<https://www.shima-lov.okinawa/>